

2/4

男女共同参画フォーラムを開催！
ジェンダーや生き方を考える

性別にとらわれず、誰もが個性豊かに暮らせる社会づくりを目指して、今回は「笑っている父親になる」を演題に、ファザーリングジャパン九州理事の馬場 義之さんが講演を行いました。その後、トークセッションでは今の子育て世代が感じていること、地域でのコミュニティなどについて話し合いました。118人が来場し、「母親も父親も“笑う”ことが大事だと思った」などの声が聞かれました。



トークセッションには市内在住の西山 親也さん、西村 赤音さん、高尾 幸子さん、浅田市長も登壇しました。

2/6

「くまもとふるさと食の名人」認定
15年の活動継続に感謝状を贈呈

「くまもとふるさと食の名人」の認定を受けている高塚 不久江さんが、郷土料理技術の伝承や食文化継承など、地域に根差した活動で県の農林水産業の振興に貢献したとして、県知事から15年の活動継続に対する感謝状を贈られたことを市長に報告しました。「おいしいねと、人に喜んでもらえることが何よりもうれしい。これからも食の技・食文化を多くの人に伝えていきたい」と話していました。



2/18

野原八幡宮風流公演会
力強く野原八幡宮風流を演舞

野原八幡宮風流が令和3年3月に国指定、令和4年11月に全国の風流踊の一つとしてユネスコ無形文化遺産に登録されたことを記念して、文化センターの大ホールで野原八幡宮風流公演会を実施しました。八幡小学校6年生による風流ボランティアガイドや、野原地区による風流の実演、専門家や文化庁調査官による風流と節頭行事の解説などを行い、市民など聴衆約300人で登録を祝いました。



ユネスコ無形文化遺産に登録されて初めて披露された野原八幡宮風流。

2/17

熊本県社会福祉功労者及び
団体等知事表彰伝達式を実施

社会福祉の向上に著しい功績があり、他の模範となる人に贈られる「熊本県社会福祉功労者及び団体等知事表彰」を、民生委員・児童委員の村上 邦公さん、前川 菜巳子さん、辛島 正春さん、松永 豊美さん、末藤 傳修さん、野口 美代子さん、福祉委員の久間 健一さんが受賞しました。受賞した皆さんは、地域の見守り活動などを通して地域福祉の推進に尽力しています。 ※表彰基準日：令和4年11月30日現在



100歳おめでとうございます！

たちかわ 立川 ヨシエさん(甲根区)

2月3日に100歳を迎えました。「しつけなどは厳しい母でしたが優しいところもたくさんあり、延命動物園によく連れていってもらいました」と息子さんが話されました。現在は介護施設で生活し、同じ100歳の入所者とおしゃべりを楽しんでいます。「長寿の秘訣は、いつまでもくよくよしないこと」と話していました。



100歳おめでとうございます！

しまむら 島村 ミツイさん(水島区)

2月10日に100歳を迎えました。夫が会社勤めだったので女手一つで農業を営み、家庭を支えてきました。現在は施設で生活していますが、それまでは週3回デイケアに通い、家ではひ孫と笑いながら遊ぶ生活を楽しんでいました。健康の秘訣は、よく笑い好き嫌いなく食べることで適度な運動だそうです。



2/16

荒尾市制施行80周年記念事業
新・給食センターで給食試食会

昨年9月に完成した、荒尾市・長洲町学校給食センターで給食試食会を開催し、41人が参加しました。調理風景の見学や施設機能の説明後、子ども達と同じ献立の給食を試食しました。参加者からは、「給食は薄味と思っていたけど、出汁がきいておいしかった。家庭でも真似をしたい。」「自身の小学校時代は給食がなかったので、初めて給食を食べることができて嬉しかった。」などの感想をいただきました。



2/12

郡市対抗熊日駅伝大会
女子に続き男子も躍進賞を獲得

第49回郡市対抗熊日駅伝大会が天草市役所前発、びぶれす熊日会館前着の全14区間で開催されました。県内19郡市が出場し、公道での開催は3年ぶり。荒尾市は5時間46分20秒の10位でゴールし、前回大会から順位を3つ上げ、先日の女子に続き見事に躍進賞を獲得しました。特に中高校生区間での好走が目立ち、次回以降の大会に繋がる結果となりました。



Hospital News

市民を愛する 市民に愛される 病院へ

荒尾市民病院からのお知らせ

荒尾市民病院

☎63-1115

新オプション検査「MRCP検査(MR胆管膵管撮影)」を開始します!

自覚症状がなく、わかりにくい病気である膵臓がんや胆管・胆嚢がん、膵臓嚢胞性腫瘍の早期発見ができます。

こんな人におすすめ!

- 膵臓がんや胆管がんの家族歴がある人
- 肥満・糖尿病の人 ○喫煙者 ○飲酒量が多い人
- 過去に膵臓に異常があるといわれたことがある人

予約前にご確認ください!

■次のような人は検査ができません

- 心臓ペースメーカーを取り付けている人
- 妊娠中または妊娠の可能性のある人

■検査を受けることができない可能性がある人

- このような人は事前にご相談ください。
- 閉所恐怖症の人
- 手術などで体内に金属(脳動脈瘤クリップ・人工関節・金属インプラント・ステント)を挿入している人
- 過去に造影剤を使用した検査で副作用があった人
- ※受診当日に胃透視検査を受ける人は、MRCP検査は後日の受診案内になります。

検査の流れ

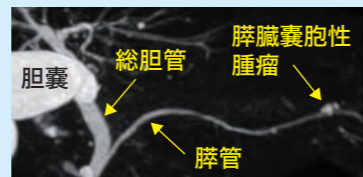
- ①予約
↓ 受診日の7日前までに電話申し込み
- ②検査当日 検査前3時間は絶飲食
↓ 検査開始:14時~(所要時間30分程度)
↓ ※検査直前に造影剤を服用します。
- ③検査結果 受診後、2週間程で自宅へ郵送

時 実施日 月・水・木曜(1日1人限定)

料 検査価格 20,000円(税込)

MRCP画像▶

膵臓嚢胞性腫瘍



問 市民病院 健康管理センター ☎62-4480(直通)

平日10時~16時30分

地域の活動掲示板

荒尾市ではさまざまな活動が行われています!

もぐらうち・どんどや



SDGs.4 1/15 質の高い教育をみんなに 万田中央地区協議会

万田中央地区協議会は、万田中央ふれあいハウスで「もぐらうち」と「どんどや」を開催。地域の子もたちが2コースに分かれて地区内の家を回り、五穀豊穡や家内安全を祈りながら、地面を打ちました。その後、旧三小のグラウンドに組まれた樽に点火して、どんどやが行われました。

一小校区大どんどや



SDGs.4 1/15 質の高い教育をみんなに 一小校区元気づくり委員会

一小校区元気づくり委員会は、東屋形の田んぼで第13回大どんどやを開催。有明高校太鼓部や一小の音楽倶楽部「スターメロディーズ」の歌や演奏でスタート。海陽中の生徒が司会を務め、地元の児童生徒が活躍しました。燃え上がる炎の前に集まった地域住民は、無病息災や家内安全を祈願しました。

2/4

観光PRキャンペーンキャラバン隊九州各県で荒尾市の魅力を発信!

荒尾市・グリーンランド・観光協会が結成した「荒尾市観光PRキャンペーンキャラバン隊」が、観光PRキャンペーンの開始に先立ち、グリーンランドで出発式を開催しました。市長や観光協会会長をはじめ、市内の観光関係事業者が集結し、春以降のイベント情報などをPR。その後、2月中旬にかけて、九州各県のテレビ局を訪問しました。多くのテレビ番組に出演し、九州全域に荒尾市をPRすることができました。



2/6

第63回熊本県農業コンクールで地域貢献賞を受賞しました

女性農業者のリーダーとして女性の視点を活かした農業振興や地域づくりなどに積極的に取り組み、女性農業者の経営参画や社会参画など地域に貢献したとして、濱田 陽子さんが県知事から表彰を受け、市長に報告しました。「会の代表など、頼まれたことは積極的に引き受けてきました。今後は女性農業者同士の交流の場を作り、これまで培ってきたことを情報発信していきたい」と話していました。



2/17

緑ヶ丘小の学校運営協議会が文部科学大臣表彰を受賞

平成29年度よりコミュニティ・スクールとして活動してきた緑ヶ丘小。その学校運営協議会が「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」に係る文部科学大臣表彰を受賞しました。「地域」と「学校」の連携・協働の取り組みの中で、地域との交流が深まり、児童は自ら課題を解決する力が身につけてきたそうです。同会の会長は子どもたちの成長を喜び、「活動の充実に協力していきたい」と語りました。



左から浅田市長、学校運営協議会長 辛島 正春さん、冨下校長

11/23

荒尾の宝 荒尾干潟で清掃活動

女性の活躍やジェンダー平等の後押しがコンセプトのミセス・オブ・ザ・イヤー熊本大会で特別賞を受賞した石原 維几さんが荒尾干潟で清掃活動を行いました。石原さんはSDGsの「海の豊かさを守ろう」に共感し、日頃から荒尾干潟の清掃活動を行っています。その活動の中で日本野鳥の会と交流を深め、渡り鳥の保全に関心を持ち「今後は地域のみなさんと清掃活動以外の環境保全にも取り組みたい」と話していました。

